

救 急 編

令和3年の救急概要

竹田市消防本部の令和3年の出場件数は1,335件、1日の平均出場件数は3.7件である。出場件数は75件増（6.0%増）、搬送人員数は68人増（5.7%増）となっている。出場件数が増加した要因は、令和2年に感染が拡大した新型コロナウイルスの影響で外出を控えていた市民が、新型コロナウイルスの感染対策を十分に講じ屋外での行動が増えたことと推察される。

搬送件数は1,253件で管内搬送件数は803件（64.1%）と昨年が746件（63.1%）であったことから57件増加（1.0%増）している。管外搬送件数は450件（35.9%）で昨年の436件（36.9%）より14件増加（1.0%減）している。

救急救命士の救急救命処置については、電気ショックに増減はなく、心停止傷病者への出場件数の減少からコンビチューブ・LTによる気道確保は4件、薬剤投与は1件の減少となっている。処置範囲拡大で追加された心停止前輸液では静脈路確保が6件の減少となったものの、静脈路確保の成功率は心停止症例35件に対して23件（65.7%）と、昨年の41件中の23件（56.1%）と比べ上昇している。要因は竹田医師会病院と大分大学医学部附属病院で運用救命士を対象とした再教育病院実習を行い、更に竹田医師会病院では救急搬送時に院内で処置補助実習を実施したことで技術が研鑽され傷病者への特定行為成功率の増加に繋がったと考察される。本年から全救急隊に気管挿管及びビデオ喉頭鏡認定救命士の乗車が可能となり、新型コロナウイルス感染症に伴うエアロゾルの観点から積極的に気管挿管を実施しているため、気管挿管は1件の増加となっている。今後も意識障害の鑑別としての血糖測定や、心停止前の静脈路確保の適応を早期に判断し適切に実施していきたい。

令和3年は心肺停止傷病者が6件減少した。バイスタンダーCPRの実施率は62.9%であり、昨年より1.9%増加している。令和2年から新型コロナウイルス感染症対策の口頭指導（換気、傷病者及び救助者へのマスクの着用等）を実施している。今後も119番受理時での口頭指導技術の向上を目指し、バイスタンダーCPRの促進と同時に救助者の安全も確保していきたい。

119番受理時または傷病者接触時において、重症度と緊急度から傷病者に対する早期医療介入が必要と判断した場合は、大分大学医学部附属病院及び大分DMA T指定病院に医師派遣要請をおこない積極的な活動を展開したい。

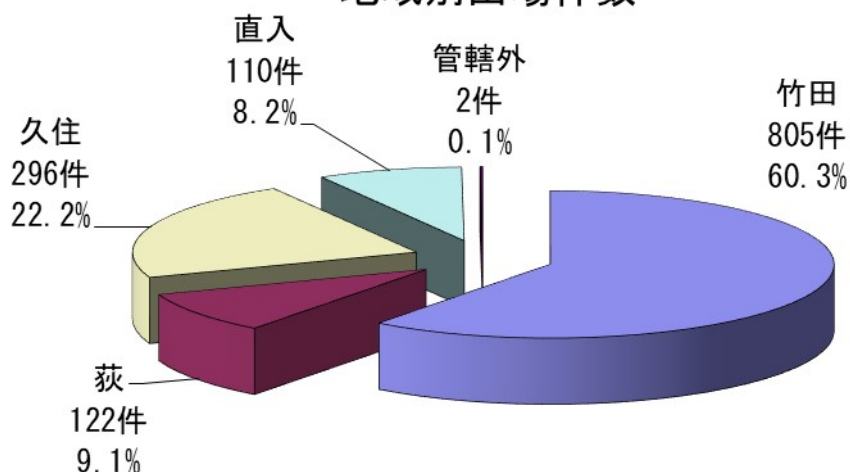
救命率向上のため、各種救急講習を実施しているが、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの講習となった。さらに感染者の状況により開催を中止または延期するなど例年どおりの開催数には及ばない状況となり受講者数も減少している。

1. 地域別出場件数

単位：件

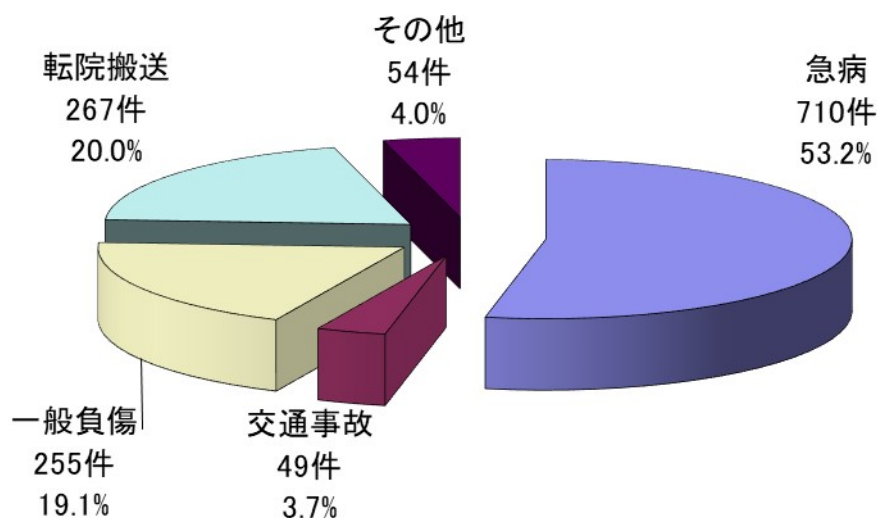
		急病	交通事故	一般負傷	その他	令和3年	令和2年	前年比較
竹田市	竹田	412	31	146	216	805	769	36
	荻	77	0	37	8	122	136	▲14
	久住	162	10	57	67	296	245	51
	直入	58	7	15	30	110	109	1
	計	709	48	256	320	1,333	1,259	74
管轄外		1	1	0	0	2	1	1
合計		710	49	256	320	1,335	1,260	75

地域別出場件数



※割合 (%) の合計は、四捨五入のため 100%にならない場合があります。

事故種別別出場件数



※割合 (%) の合計は、四捨五入のため 100%にならない場合があります。

2. 出場状況

	令和 3 年	令和 2 年	対前年比 (率)	備考
出場件数	1,335 件	1,260 件	75 件 (6.0%増)	(1 日平均) 3.7 件
搬送人員	1,261 人	1,193 人	68 人 (5.7%増)	(不搬送件数) 82 件

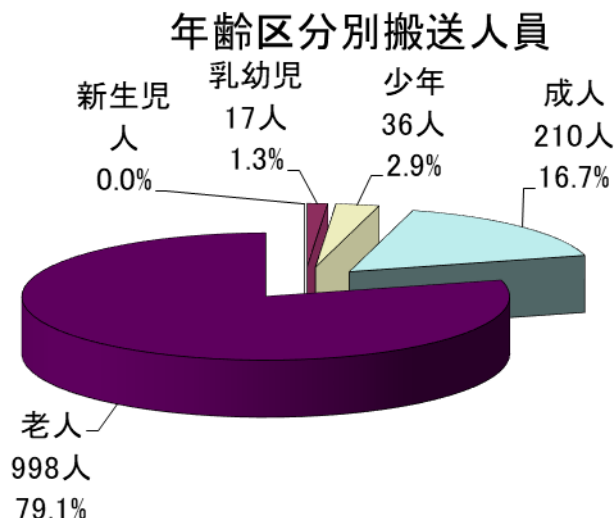
3. 竹田市月別救急出場件数 (過去 5 年間)

単位：件

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
令和 3 年	117	97	119	100	103	103	134	110	99	128	126	99	1,335
令和 2 年	94	100	83	94	81	95	101	127	96	118	138	133	1,260
令和元年	147	109	118	122	140	111	128	126	109	107	99	127	1,443
平成 30 年	135	130	132	121	117	113	158	165	100	103	105	94	1,473
平成 29 年	147	108	125	124	119	101	127	114	110	99	122	134	1,430

4. 年齢区分別搬送人員

年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	計
搬送人員	0人	17人	36人	210人	998人	1,261人
率	0.0%	1.3%	2.9%	16.7%	79.1%	100.0%



※割合 (%) の合計は、四捨五入のため 100%にならない場合があります。

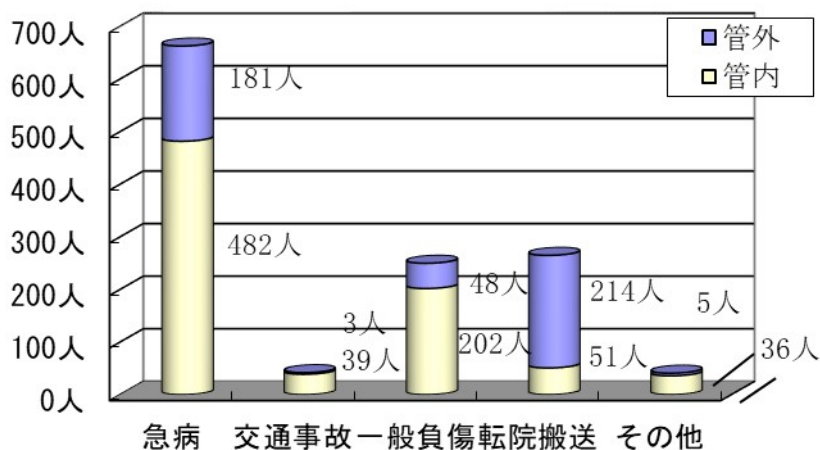
5. 現場到着所要時間別出場件数

	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着 平均所要時間
令和3年	14件	91件	629件	450件	151件	10.96分 (10分58秒)
令和2年	16件	99件	570件	461件	114件	10.8分 (10分48秒)

6. 管轄外搬送件数

	管轄外搬送件数	前年対比
令和3年	450件 (うち転院搬送 214件)	14件 (3.2%増)
令和2年	436件 (うち転院搬送 206件)	

事故種別別収容病院管轄



7. 救急救命士による救命処置実施状況

	電気ショック	気管挿管	コンビューブ・LTによる気道確保	血糖測定	静脈路確保	薬剤投与
令和3年	2件	22件	0件	34件	35件 (心停止後23件) (心停止前12件)	22件 (アドレナリン20件) (ブドウ糖 2件)
令和2年	2件	21件	4件	30件	41件 (心停止後23件) (心停止前18件)	23件 (アドレナリン22件) (ブドウ糖 1件)

8. 救急講習受講状況

	受講団体数	新規講習	再講習	総数
普通救命講習	6団体	64人	2人	66人
救命入門コース	0団体			0人
一般講習	10団体			184人

9. 心肺停止傷病者数及びバイスタンダーによる心肺蘇生実施状況

	令和3年	令和2年	前年対比
心肺停止傷病者	35名	41名	▲6名(14.6%減)
バイスタンダーCPR有	22件	25件	▲3件(12.0%減)
心肺停止傷病者に対する、 バイスタンダーCPR実施比率	62.9%	61.0%	1.9%増